

# あれこれ 町政を問う

# Q. 伊方原発 福島より危ない 再稼動NOを!

## A. 一般論として安全は大事



稻田 孔議員



## 注目の伊方原発 (ネット掲載写真より)

**問** 伊方原発は埋め立て地の上に建設され、地震の震源地と言われる活断層に近いため、核反応を停止させる装置を作動させることができない。それほど安全確保が難しい。

また閉鎖海域のため、漏れた放射能の環境汚染が福島よりも危険な原発と言える。

① このような伊方原発の再稼動に対する町長の見解は。

② 再生可能エネルギーを町政の基軸に。

① 県の追加策として、津波による電源の確保も代替の注水ポンプの配備も整つており再稼動については国や県が判断する。一般論として安全対策に万全を期して慎重にやって欲しい。原発事故で町内へ影響があるとの国や県、四国電力の情報に基づいて避難などの指示を行う。

② 代替エネルギーとして住宅用太陽光発電システム設置の補助や食用油の廃油によるバイオディーゼル燃料を公用車に使用している。

老朽化した義農公園内の各施設の建替整備計画に関連して、閉鎖の決まりた町営プールに関しては利用者から多くの再建を望む声を聞く。

現有地での建設が無理なら今、計画されている統合保育所と併設で用地を確保し、プールを先行建設する考えは。

義農公園周辺には、公園の機能に加え保育所、老人憩いの家、神社など多くの施設があるが、いずれも老朽化が進んでいる。義農神社もあるので建替に当たつては、住民の意見を聞き、義農作兵衛顕彰館として残すことも検討。

**答** プールの建替は  
考えていない

答  
町長

## 問 義農公園の整備 計画にプールの再 建も

**答** プールの建替は  
考えていない

### 閉鎖が決まった町営プール

その他の質問

- 1 町民への消費税増税への影響は
- 2 防災計画の基本政策
- 3 中学卒業までの医療費無料化を
- 4 二級河川の管理強化を県に求めよ
- 5 南黒田企業団地の現状は